

4 卓 球

1 期 日	6月2日(金)	監督会議 開会式	11時30分～ 12時～	大会議室
		男子学校対抗 1回戦		12時30分
		女子学校対抗 1回戦～2回戦		
		男子ダブルス 1回戦～2回戦	14時～	
		女子シングルス 1回戦	16時～	
		男子シングルス 1回戦	17時～	
	6月3日(土)	女子ダブルス 1回戦～決勝		8時30分～
		男子ダブルス 3回戦～決勝		
		男子学校対抗 2回戦～決勝	11時10分～	
		女子学校対抗 3回戦～決勝	12時50分～	
	6月4日(日)	男子シングルス 2回戦～決勝		8時30分～
		女子シングルス 2回戦～決勝		9時30分～
		閉会式	14時40分	

2 会 場 鶴岡市小真木原総合体育館 鶴岡市小真木原町 2 - 1 0235 - 25 - 8131

3 競技種目 男子学校対抗 男子ダブルス 男子シングルス
女子学校対抗 女子ダブルス 女子シングルス

4 競技規則

(1) 当年4月1日現在の日本卓球ルールと以下の規定による。

ア 外部指導者を登録する場合は、山形県高体連卓球専門部が定める「外部指導者の登録規定」に従うこと。

イ 個人戦のアドバイザーは、当該校の監督・顧問・外部指導者・選手に限る。試合開始時に選手とともに競技場に入場するものとし、試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。

ウ 監督・顧問・外部指導者は、(財)日本卓球協会に監督またはコーチとして登録し、交付された監督章をベンチに入る際につけること。

エ 選手は、(財)日本卓球協会発行のゼッケンに、選手名、都道府県名及び学校名を3段に書き、背中につけること。

オ 団体戦は、対戦チーム双方からエントリー選手のうち1名を副審にあてる。

カ 個人戦は原則的に敗者審判制とし、副審を務める。

キ 部旗の掲示は、横200cm×縦150cm以内のものを1校1枚とする。

(2) 日本卓球ルールの中で、特に留意すること。

ア 平成17年9月1日改正ルールの正規のサービス及び促進ルールについては正しく理解しておくこと。

イ 接着剤の使用は、指定された場所でのみ認める。

5 競技方法

(1) 全種目11本5ゲームスマッチのトーナメント方式とする。

(2) 学校対抗の登録は4～7名とする。試合は1ダブルス4シングルの5試合3点先取法とする。試合の順序は下記のとおりとし、ダブルスに出場する2名の選手がシングルスにも重複して出場することができる。但し、この2名の選手が1番と2番に並んで出場することはできない。

(3) 外国籍選手は1試合につき1名が1度のみ(S・Dを問わず)出場できる。

試合順序	1	2	3	4	5	S : シングルス
試合方式	S	S	D	S	S	D : ダブルス

6 使用球及び使用卓球台

使用球 ニツタク硬球(40mm, 白色)

使用台 ブルー

7 参加資格

(1) 基本要項に準ずる。

(2) 選手は山形県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、? 日本卓球協会への登録が完了し、かつ地区予選を通過し、県大会出場資格を得た者に限る。

8 参加制限 各地区出場枠は、下表のとおりとする。

種目 地区	学校対抗				シングルス				ダブルス	
	男		女		男		女		男	女
	出場枠	推薦	出場枠	推薦	出場枠	推薦	出場枠	推薦	出場枠	出場枠
村山	9	1	7	1	48	2	36	3	20	14
最北	4		5		26		16		10	8
置賜	7		7		32	2	26	3	12	10
田川	6		3		26	2	12		10	6
飽海	3		3		12	2	14	2	4	6
小計	29	1	25	1	144	8	104	8	56	44
合計	30		26		152		112			

推薦出場枠は、前年度県高校新人大会の団体優勝校及びシングルのベスト8入賞者。

9 参加申込及び宿泊申込 基本要項に準ずる。

10 表彰及び上位大会出場選考

(1) 表彰 基本要項に準ずる。

(2) 本大会は全国高等学校卓球選手権大会(全国高校総体)及び東北高等学校卓球選手権大会の予選を兼ねる。出場数は次の表のとおりとする。

種目 大会	学校対抗		ダブルス		シングルス	
	男	女	男	女	男	女
全国高校総体	1	1	2	2	4	4
東北選手権大会	2	2	6	6	12	12

11 連絡事項

(1) 大会期間中の練習時間は次のとおりとする。

メインアリーナ 6月2日(金) 9時 ~ 11時30分
 6月3日(土) 7時40分 ~ 8時20分
 6月4日(日) 7時40分 ~ 8時20分